京都東山山頂に新名所誕生
「青龍殿」「大舞台」と「将軍塚」のご案内

平成26年10月、京都東山山頂に大護摩堂「青龍殿」を建立、落慶いたしました。

青龍殿とは、奈良大仏殿のおよそ横幅半分の木造大建築物で、国宝 青不動をお祀りする建物です。青蓮院では、この国宝 青不動を初めて奥殿に安置し、精密な複製画を通じておまいりすることが可能となりました。建物内では、所定日に護摩を修し、みなさまの諸願成就を祈願させていただいております。

また、青龍殿と併せて木造の大舞台を新築しました。これにより東山山頂より、京都市内を足下に見下し、大阪近郊まで一望できるようになりました。雨の日でも雲の上にそびえ立つ天空のお堂として見応えがございます。圧倒的なスケールと市内一望の大パノラマに、来られた方から大歓声が上がります。この大舞台から地図を広げながら、実際に京都の町並みをご覧いただきますと、観光場所や史跡、ホテルなどの確認が容易となり、京都の理解に大変役立ちます。

さらに、平安遷都の折、桓武天皇が築かせた由緒ある将軍塚が現存し、見学することが可能です。

将軍塚横の庭園には、紅葉、桜など美しい樹木をはじめ、枯山水庭園、大隈重信、東郷元帥、黒木大将らのお手植え松と顕彰碑など、歴史を偲ぶに相応しい場所ともなっております。

青不動さまに逢える、京都の文化・心に触れる、そして、歴史を学べる地として、是非、将軍塚青龍殿へお越し下さい。

尚、青龍殿へはお車、タクシーの他、循環バス（交通アクセスをご参照ください）をご利用下さい。健脚な方は、東山トレイルコース（山道）でも青蓮院本院からおよそ30分～40分にてお越しになれます。

1．京都東山に新名所「青龍殿（せいりゅうでん）」誕生



そもそも青龍殿は、大正２（1913）年、大正天皇の即位を記念して、「大日本武徳会京都支部武徳殿」として京都北野天満宮前に建立された価値ある木造大建造物です。

戦後、昭和22（1947）年、京都府に移管され、「平安道場」として警察の柔道剣道の道場となり、後に、一般にも開放され、多くの青少年たちも武道修行に取り組みました。

平成10（1998）年、京都府は、平安道場を閉鎖し、解体処分を決定し、その後、青蓮院が歴史的文化遺産の継承を決意し、京都東山山頂に「青龍殿」として移築再建したものです。移築再建の技術もぜひ見学してください。

2．京都市内を一望できる新名所「大舞台」の誕生

青龍殿には清水寺の舞台の４．６倍の広さ（延面積：1046㎡）の木造大舞台を新設。眼下に京都市内が一望でき、西展望台からは京都市内のみならず、大阪のビルまで遠望できます。

圧倒的なスケールと市内一望の大パノラマに、来られた方から大歓声が上がります。







3．国宝「青不動」を青龍殿奥殿に安置

教科書にも紹介されている「青不動明王二童子像」は、ご身体の色が青黒（しょうこく）なことから通称「青不動」と呼ばれています。平安時代の中期、11世紀頃の製作とされ、我が国仏教絵画史の最高傑作の一つとして、いち早く国宝に指定されました。縦２０３㎝、横１４９㎝の絹本礼拝画像で、妄念や煩悩を焼き尽くす不動明王の気迫が拝する者を圧倒します。

国宝本体は奥殿に安置し、手前に精巧に製作された複製をお祀りし、皆様からのお願い事を毎月所定日に護摩供にて祈願しています。

昨今２度の一般公開の折りには、およそ55万人もの皆様におまいりいただきました。

4．京の都は「将軍塚（しょうぐんづか）」から始まりました

この地は、京都の中心四条通の真上に位置し、桓武天皇が都を定められる折り、和気清麻呂に伴われ登られて、この京都を都とすることをお決めになり、将軍の像に甲冑を着せ埋めて、都の安泰を祈ったと伝えられています。約２０m四方の将軍塚が現存しています。



5．「庭園」は紅葉と桜の名所です

展望台に続く庭園には、紅葉（約220本）、桜（約200本）、源平垂れ桃、藤、シャクナゲ、サツキ等が植えられ、特に紅葉、桜の名所となっています。

秋季と春季にはライトアップが催され、庭園園内の紅葉、あるいは桜と京都市内の夜景とが一体となってお楽しみいただけます。

また、青龍殿庭園は回遊式庭園に枯山水庭園を取り込み、室町時代、すなわち日本庭園が技術的にも芸術的にも最も優れた時代の手法を用いて作庭されたもので、一見して作庭者の企図とする着想が庭の隅々まであふれている野心作です。また、東屋からの将軍塚、西山の遠望は見事な借景庭園の一例です。









青龍殿の由緒



大正２（1913）年、明治天皇大喪使総裁、大正天皇即位大礼使総裁の伏見宮貞愛親王殿下より令旨を賜り、大正天皇の即位を記念して、大日本武徳会が中心となり、京都府民から浄財を募り、「大日本武徳会京都支部武徳殿」として京都北野天満宮前に建立されました。

武徳殿は一見純和風に見えて、屋根を支える小屋組みと建物を支える基礎は外来の技術が用いられており、「和洋折衷」という大正時代建築の特徴を示す木造大建造物で、いずれ重要文化財指定の可能性も充分にある価値の高い建物です。

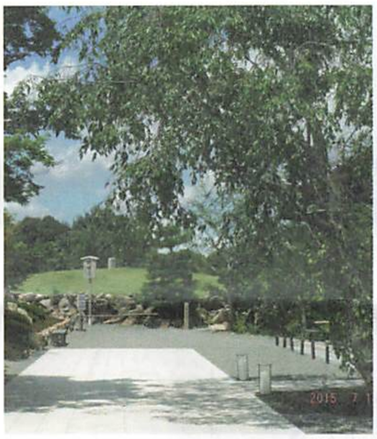
その後、昭和22（1947）年、京都府に移管され、「平安道場」として警察の柔道剣道の道場となりましたが、平成10（1998）年、京都府は、雨漏りの手当が遅れ、修繕に多額の維持管理費用がかさむことから平安道場を閉鎖し、解体処分とすることにしました。

平成21年、青蓮院が「青龍殿」として京都東山山頂将軍塚に移築再建することを決定し、平成26年10月に完成いたしました。

〔青龍殿建物概要〕

木造平屋建瓦葺１棟	外陣：延面積 約537㎡	高さ 14.5m	東西長さ 約26m	南北長さ 約20m
	内陣：延面積 約138㎡	新築	東西長さ 約12.8m	南北長さ 約11.4m

将軍塚の由緒







鳥羽僧正絵巻に、将軍塚造営の絵図が残されています。

源平盛衰記には、世の中に異変のある時は、この塚が鳴動すると記されています。

近代では、東郷元帥、黒木大将、大隈重信、菊池大麓等のお手植えの松と石柱があり、往時の偉人達が訪れ、ここから京の都を一望して日本の将来に思いを馳せたことが偲ばれる由緒ある場所です。

国宝 青不動明王

青不動明王二童子像は、ご身体の色が青黒（しょうこく）なことから通称「青不動」と呼ばれ、日本三大不動画のひとつとして有名です。

製作時期は平安時代の中期、11世紀に当たるとされ、我が国仏教絵画史の最高傑作の一つとして、いち早く国宝に指定されました。大きさは、縦２０３cm、横１４９cmの大作の絹本礼拝画像です。

この画像は、絹本の濃茶褐色の地色に、朱と丹で激しく燃え盛り揺れ動くすさまじい炎が画かれ、その中央に剣と絹索を持し、忿怒の相の青不動明王の尊身が厳かに岩の上に座しておられます。妄念や煩悩を焼き尽くす不動明王の気迫が拝する者を圧倒します。

青蓮院では、宮中から下賜されたこの尊像を寺宝中の寺宝として、篤く敬い、尊崇してまいりました。

国宝本体を新築の奥殿に安置し、手前に精巧に製作された複製をお祀りし、皆様からのお願い事を毎月所定日に護摩供にて祈願しています。



拝観案内

●拝観時間

- ●午前９時より午後５時まで（午後４時30分受付終了）
- ●拝観所要時間は、約３０～４０分程度です。
- ●秋季と春季には日没よりライトアップが始まります。開催期間は、お問い合わせください。

●拝 観 料

	個　人	団体（３０名以上）
大　　人	５００円	４５０円
高 校 生	４００円	３５０円
中 学 生	４００円	３００円
小 学 生	２００円	２００円

※小学生の個人拝観は、保護者同伴の場合、無料です。
※30名以上は、１人当たりの料金です。同行される旅行添乗員、学校の先生の料金はかかりません。

交通アクセス

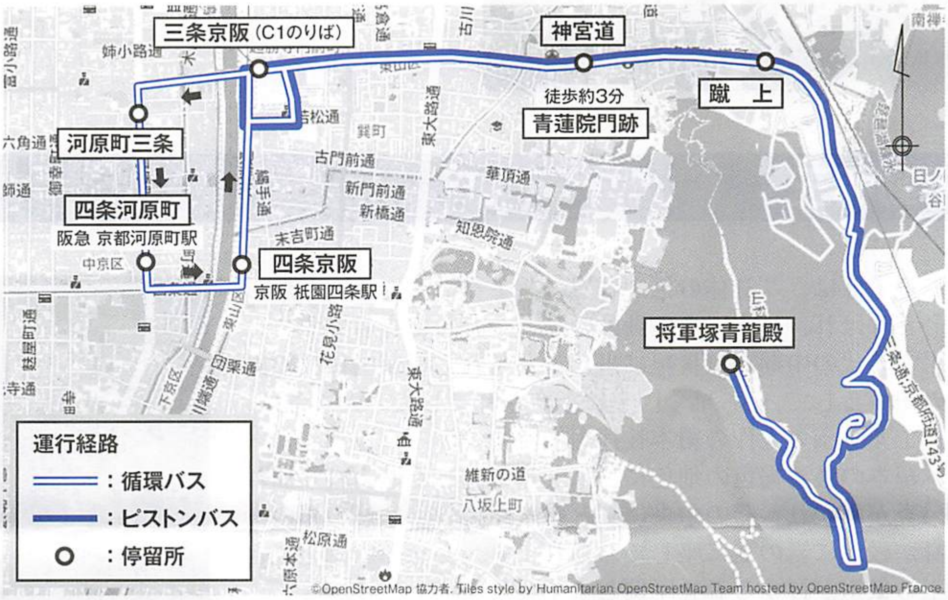
- 三条通蹴上より五条通に通じる東山ドライブウェイの頂上から将軍塚へ至る。
- 大型バスは青龍殿福徳門内にて下車後、市営無料駐車場に駐車。
- 京都駅よりタクシー 約20分　青蓮院よりタクシー 約10分。
- タクシー、普通自動車は、青龍殿福徳門内に駐車可。

循環バス・ピストンバス（将軍塚青龍殿⇔三条京阪）　運行会社：京阪バス

料　金　大人**230**円　小児**120**円 均一

運行日　土休日運行（平日は、11月・年末年始・桜シーズン・ゴールデンウィークなどにも臨時運行）

運行経路図



運行状況などはQRコードでご確認いただけます

時刻表

循環バス

将軍塚青龍殿		9:10	11:00	13:30	15:20	16:55
蹴　上		9:15	11:05	13:35	15:25	17:00
神宮道		9:17	11:07	13:37	15:27	17:02
三条京阪（C1のりば）	着	9:22	11:12	13:42	15:32	17:07
	発	9:25	11:15	13:45	15:35	17:07
河原町三条		9:27	11:17	13:47	15:37	17:09
四条河原町		9:29	11:19	13:49	15:39	17:11
四条京阪		9:31	11:21	13:51	15:41	–
三条京阪（C1のりば）	着	9:35	11:25	13:55	15:45	–
	発	9:40	11:30	14:00	15:50	–
神宮道		9:45	11:35	14:05	15:55	–
蹴　上		9:47	11:37	14:07	15:57	–
将軍塚青龍殿		9:56	11:46	14:16	16:06	–

ピストンバス

将軍塚青龍殿 ⇒ 三条京阪

将軍塚青龍殿	–	10:10	12:00	14:30
蹴　上	–	10:15	12:05	14:35
神宮道	–	10:17	12:07	14:37
三条京阪	–	10:22	12:12	14:42

三条京阪 ⇒ 将軍塚青龍殿

三条京阪	8:45	10:30	12:20	14:50
神宮道	8:50	10:35	12:25	14:55
蹴　上	8:52	10:37	12:27	14:57
将軍塚青龍殿	9:01	10:46	12:36	15:06

※詳しくは京阪バスホームページをご覧ください。

団体ご予約　まずお電話でご確認後 FAX にてご予約ください。あるいは旅行会社を通じてご連絡お願いします。

――― その他ご不明な点等ございましたら、お気軽にご連絡ください ―――

将軍塚青龍殿

電話 FAX **075-771-0390**

〒607-8456 京都市山科区山科厨子奥花鳥町28

ホームページ http://www.shogunzuka.com/　http://www.shorenin.com/　メールアドレス awata@shorenin.com